

# 令和 6 年度 秋・春 開催

花と緑の祭典

## 全国都市緑化 かわさきフェア

### 開催目的

- 全国都市緑化フェアは、**国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるための普及啓発事業**として、昭和58(1983)年から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典です。



第36回 信州フェア (R1)  
全国都市緑化祭  
(皇室による記念植樹)



第38回 くまもとフェア (R3)  
メイン花壇



第39回 北海道フェア (R4)  
自治体出展花壇：川崎市

- 本市では、**令和6(2024)年に市制100周年を迎える**ことから、これまでの100年を振り返り、次の100年に向けた取り組みとして、**全国都市緑化かわさきフェアを開催**します。
- かわさきフェアをきっかけに、私たちの日常の暮らしの中の“みどり”を通じて、人と人、人と暮らしが緩やかにつながり心豊かな暮らしを生み出していきます。**

### 開催概要

- 名称 第41回全国都市緑化かわさきフェア
- 主催者等 主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構  
実施主体：市制100周年記念事業・  
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
- 開催期間 **令和6年度 秋** (令和6年10月～)・**春** (令和7年3月～)
- 愛称 「Green For All KAWASAKI 2024」
- 統一主題 「みどりで、つながる。みんなが、つながる。」
- シンボルマーク 「Colors,Future! Actions」の取組の一つである「Green For All」を表現するため、みどりをツールに、**人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子**を、区の数である7枚の葉を重ね、**市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージ**を、多彩な色でロゴ全体を花に見立てて表現しています。



# 会場構成

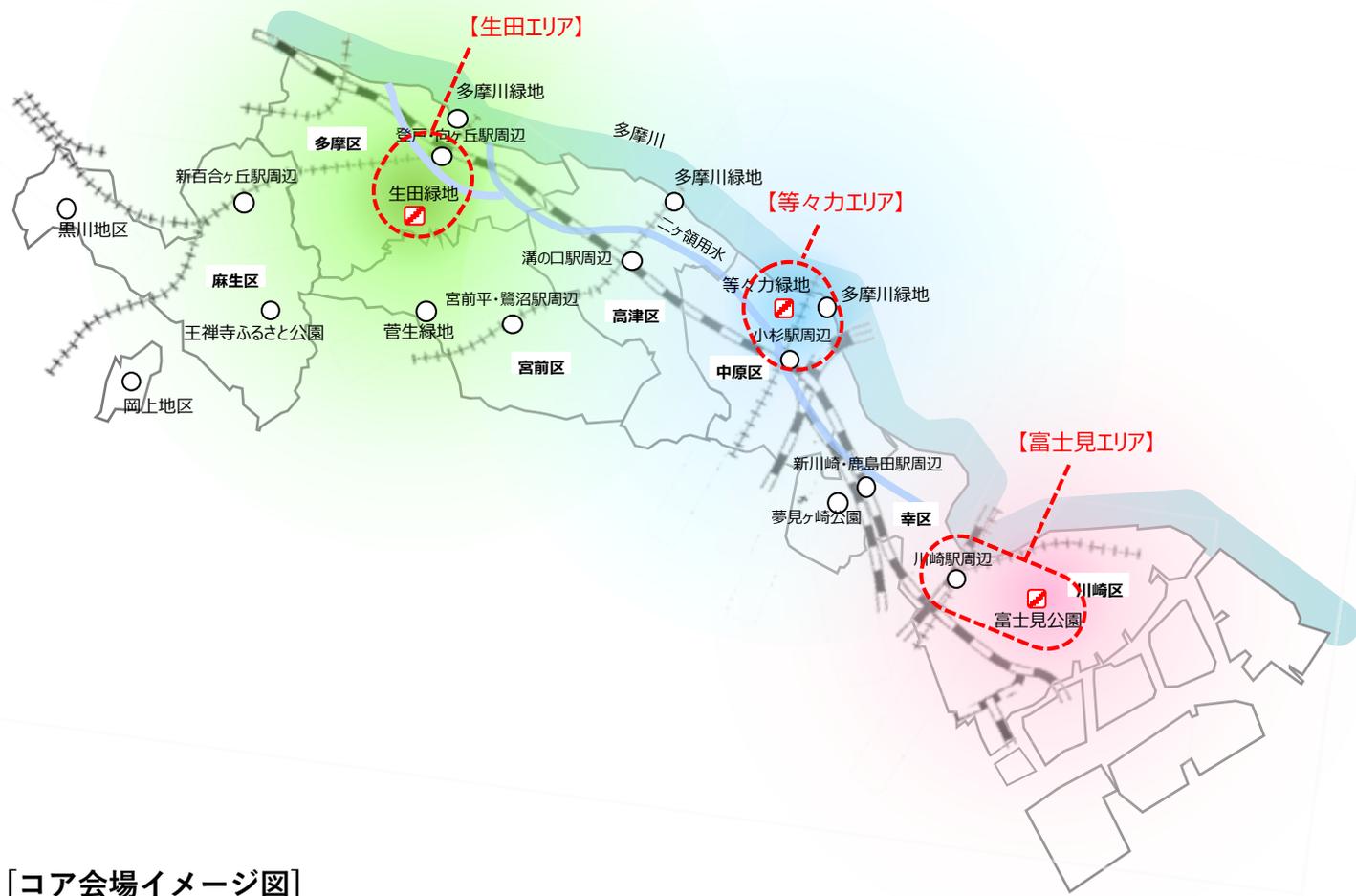
## ●会場設定の考え方

南部から北部まで、地域ごとに様々な顔を持つ川崎の多様な魅力や強みを発信するため、**市域全体を会場**として捉えて、**各区それぞれの地域資源を活かした個性的な取組**を展開します。

- **コア会場**：本市の代表的な3つの総合公園を含むエリアを設定します。

**「南部：富士見公園周辺」「中部：等々力緑地周辺」「北部：生田緑地周辺」**

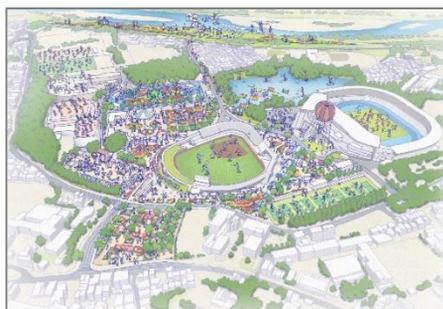
- **協賛・連携会場等**：駅、商業施設、民有空地、緑化推進重点地区、公園緑地、バーチャル会場 等



## [コア会場イメージ図]



**富士見公園**  
「多様性」×みどり



**等々力緑地**  
「体験・体感」×みどり



**生田緑地**  
「歴史・文化」×みどり

# 1 全国都市緑化かわさきフェアとは

## (1) 目的

- フェアの将来像は、「みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち」。
- これの実現に向けて、「みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かし、多様な主体がつながり重なり合うことで、行動するきっかけとしての市民総参加型のフェアとなるよう、取組を展開していきます。



## (2) 幹事会

- 役割 専門的な見地からの事業の企画、調整、実施等に係る審議助言
- 構成 各分野に精通した団体・専門家から選出
- 開催状況 ○令和4年9月30日 **第1回幹事会** (会場計画、協働、共創の取組等)

【主な意見】 ○花の栽培時期や見頃等を踏まえると、**開催期間は秋・春ともにずらした方がよい。**  
○3つのコア会場の各周辺にいろいろな資源があり、それぞれ連携が必要。  
○市民の巻き込み方として、ターゲット層を整理するとともに、特に子どもたちには様々な体験が出来るようなフェアにしたい。

個別ヒアリング (開催期間、コア会場と周辺エリア、市民総参加の実現に向けた仕掛け方について等)

【主な意見】 ○グリーンインフラは、コミュニティとみどりを繋ぐことも含め幅広いスタンスで考えた方がよい。  
○2期つながりは、人のつながりに加え、地域で製作したものが会期後や会期の間に地域に戻っていくなどの仕組みづくりも必要。  
○こどもの参加は強制的にならないよう、楽しさ、誇らしさや発見、何のために花は咲くのか考えてもらうことが大事。  
○川崎だとこんなチャレンジをしているということが、すべて広報・PRのネタになる。

○令和5年2月27日 **第2回幹事会を予定** (進捗状況の報告等について)

## (3) 基本的事項

- 名称 第41回 全国都市緑化かわさきフェア
- 主催者等 主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構  
実施主体：
- 開催期間 **地域資源を活かした個性的な取組を全市的に展開していくため、木や花の見頃などを踏まえて、次のとおり、秋、春の季節ごとに開催期間を設定。**

令和6年10月中旬	～11月上旬	(20日間程度)
令和7年3月上旬	～3月下旬	(30日間程度)

**(案) 令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)**  
**令和7年3月22日(土)～4月13日(日) (23日間)**

第1回幹事会での意見を踏まえて開催期間を遅らせます

- 会場 コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地  
協賛・連携会場等：駅、商業施設、民有空地、公園緑地、緑化推進重点地区、バーチャル会場 等

- 統一主題 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」
- 愛称 「Green For All KAWASAKI 2024」
- シンボルマーク みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージを、多様な色でロゴ全体を花に見たてて表現しました。

- 入場者規模、概算事業費 基本・実施計画において決定します。



# 2 市民総参加の実現に向けた考え方

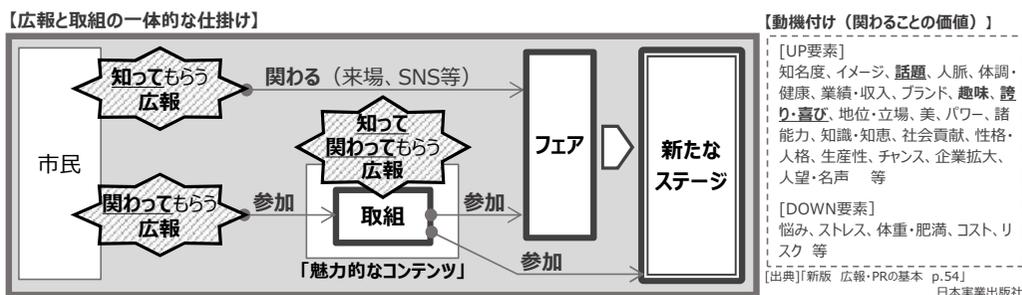
## (1) 市民総参加の目的と目標

- 【目的】 市民の誰もが参加でき、多様な関わり方を互いに尊重しながら、**自分にとってのみどりと関係性を見直し、つくる“きっかけ”の提供。**
- 【目標】 **市民154万人に知って、関わってもらうことを目指します** (延べ人数)

【例】 A：会場や身近な公園の花壇づくり等の**ボランティアへの参加**  
B：**コア会場への来場、各種体験イベントへの参加**  
C：自宅のみどりを**SNSに投稿** 等  
⇒ **来場者数、イベント参加者数等でカウント**

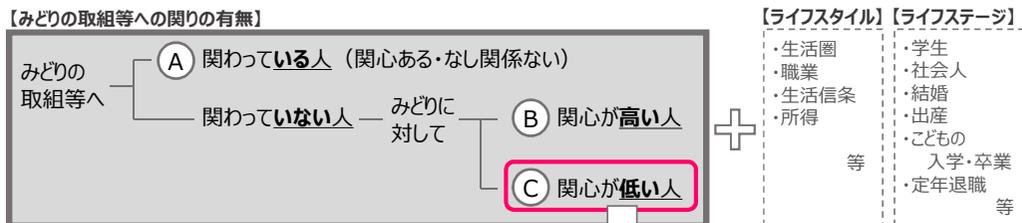
## (2) アプローチの方法

- より多くの人を知って、関わってもらうため、**既存イベントや取組等を活用するとともに、魅力的なコンテンツや会場における体験・体感を通じて、フェアの開催前から意識醸成を図っていきます。**
- また、**魅力的なコンテンツ等の周知と広報を一体的に行うことで、取組を知り、関わるきっかけとなるよう積極的に情報発信していきます** (100周年記念事業の考え方：広報戦略＝事業戦略)。



## (3) ターゲット層の設定

より多くの人々を『みどりでつなげる』ためには、**各自にとっての関心事からアプローチすることが有効**であることから、現状のみどりの取組等への関りの分類に加えて、**ライフスタイルやライフステージ等に応じたターゲット層を整理**します。



A・Bの参加の一層の拡大に繋がる取組について着実な推進を図るとともに、特に、**Cに対するアプローチに力点**を置きます

## (4) アプローチの設定

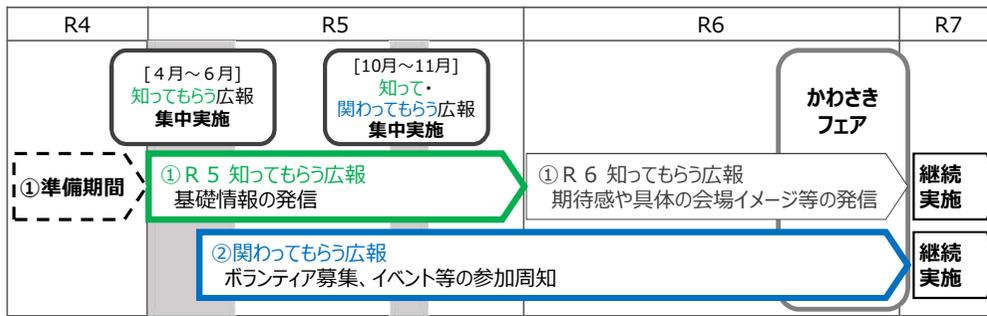
魅力的なコンテンツを生む動機付け・きっかけづくりとして、ターゲット層ごとに、**各自の動機付け(関わることの価値)を意識し、きめ細やかなアプローチを設定**していきます。

- (A)** ●関わってもらうことを意識した**周知・広報と取組を展開**
- (B)** ●思わず関わりたくなるような、**多様なメニューを設定**  
例) 体験イベントや各種取組に係るコンテスト 等
- (C)** ●何よりもまず、**知ってもらうことを意識した周知・広報の徹底**
- 知らないうちに又はいつの間にか関わっている状況を作る**
- みどりととは別の動機付けを入口とするコンテンツを用意  
例) スポーツ、音楽、健康など幅広く検討。

## 2 市民総参加の実現に向けた考え方

### (5) 効果的な情報発信の考え方

- 令和5年1～3月は、来年度から本格スタートするための準備期間として、**ポスター・チラシを作成し、既存イベントや企業・団体周り等への情報発信をできるところから行っていく**とともに、各局区の魅力的なコンテンツを市内外へ情報発信するために**4月から立ち上げる“かわさきフェア専用HP”を準備**します。
- R5は、国の都市緑化月間や市民イベントが多く行われる**4月と10月を集中期間として広報・PR**を行います。
- 「①知ってもらう広報」については、**段階的に意識醸成を図るため年度ごとに目的を明確**にするとともに、**100周年記念事業の象徴的的事业として、取組を知り、関わるきっかけとしても積極的に情報発信**します。
- 「④R5知ってもらう広報」については、A・Bのターゲット層に向けて、改めて**フェアの開催に向けて実感を持ってもらえるよう**、既存イベントや企業・団体周り等の機会を捉えて、出来るところから情報発信を行っていきます。
- またCのターゲット層に向けて、**何よりもまずかわさきフェア自体知ってもらうため**、様々な年齢層ごとに関心の高そうな話題、趣味等など、**みどりと別の動機付けを入口とするコンテンツを用意した上で、広報・PR**します。
- 「②関わってもらう広報」については、A・Bのターゲット層に向けて、**思わず関わりたくなるような多様なメニューを設定**し、**広報・PR**と取り組みを戦略的に展開します。



### (6) 各広報のポスター・チラシのデザイン等の考え方

#### ①知ってもらう広報

- R5**
- フェア開催の認知度向上のため、**開催期間や会場等の基礎情報やロゴ・テーマ、都市の中の川崎のみどりの価値等の伝えたいメッセージをしっかりと発信**します。
  - 作成したポスター・チラシを**既存イベントや取組、企業・団体周り等への情報発信に活用**するとともに、**ウェブサイトやデジタルサイネージ等におけるデジタル媒体にも反映**していきます。
  - 早急に情報発信するため、先行して、情報をフェアの基礎情報や伝えたいメッセージに絞った「**通常版**」を作成した上で、その後、協賛企業ロゴ入り版を作成します。

- R6**
- フェアへの期待感を促進するため、**パースや写真等を用いて具体の会場イメージを分かりやすく発信**します。

#### ②関わってもらう広報

- 企業共創や市民協働等の取組と伝えたいメッセージを掛け合わせる**ことで情報発信します。
- チラシ等へ**QRコードを掲載**するなど、気軽に情報を取得し、参加を促すような仕掛けを入れます。
- なお、**かわさきフェア専用HP**においては、**各局区における既存のイベントや地域活動をPR**することで、**コア会場以外においても多くの人へ関わってもらうよう取組を推進**します。

(ポスター案)



## 3 事業構成等の考え方

### (1) 2期開催による事業構成の考え方

- 地域資源や特色を捉え、効果的なみどりのみせ方や既存イベントとの連携**により、秋と春それぞれの**季節を感じさせる取組を展開**します。
- 秋開催後、春開催まで約4か月期間が空くことから、この**中断期間を有効活用し、秋に仕込んだ内容が春に芽吹くような、植物調達や協働推進等の各種取組を展開**します。
- 秋開催に使用する一部花材やコンテナ等**は、中断期の活用や適切な管理を行い、**春開催時でも活用**します。

### (2) 会場構成の考え方 (全市展開イメージ)

かわさきフェアにおいては、みどりの効果等を感じさせる会場を、**大きく次の3つに分けて全市展開**します。

**○ エリア (コア会場周辺)**

- 駅からコア会場までの主要動線付近にある協賛・連携会場などを、**各エリアのコンセプトを具現化して市内外からの集客を見込むエリアとして設定**。
- 駅からコア会場において多様な主体と連携した、**みどりの効果を感じながら、安全かつ歩いて楽しめる空間づくり**。

**⊗ コア会場**

- 各エリアのコンセプトに基づき、川崎らしい都市の中のみどりの価値を発信。
- フェアの**主要な行催事等 (公式行事、出展展示等) を実施**するとともに、周辺の地域資源や特色を活かし、**多様な主体との協働・共創による様々な取組のショーケースとなる空間を創出し、市内外から来場者を呼び込む仕掛けを展開**します。
- **各公園の指定管理者と協議調整した上で、出展展示や行催事、公園内の設えを整備**します。

**○ 協賛・連携会場**

- 市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、**日常の活動や取組をフェアを通じて発信**し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成します。

**会場構成する上での共通した考え方**

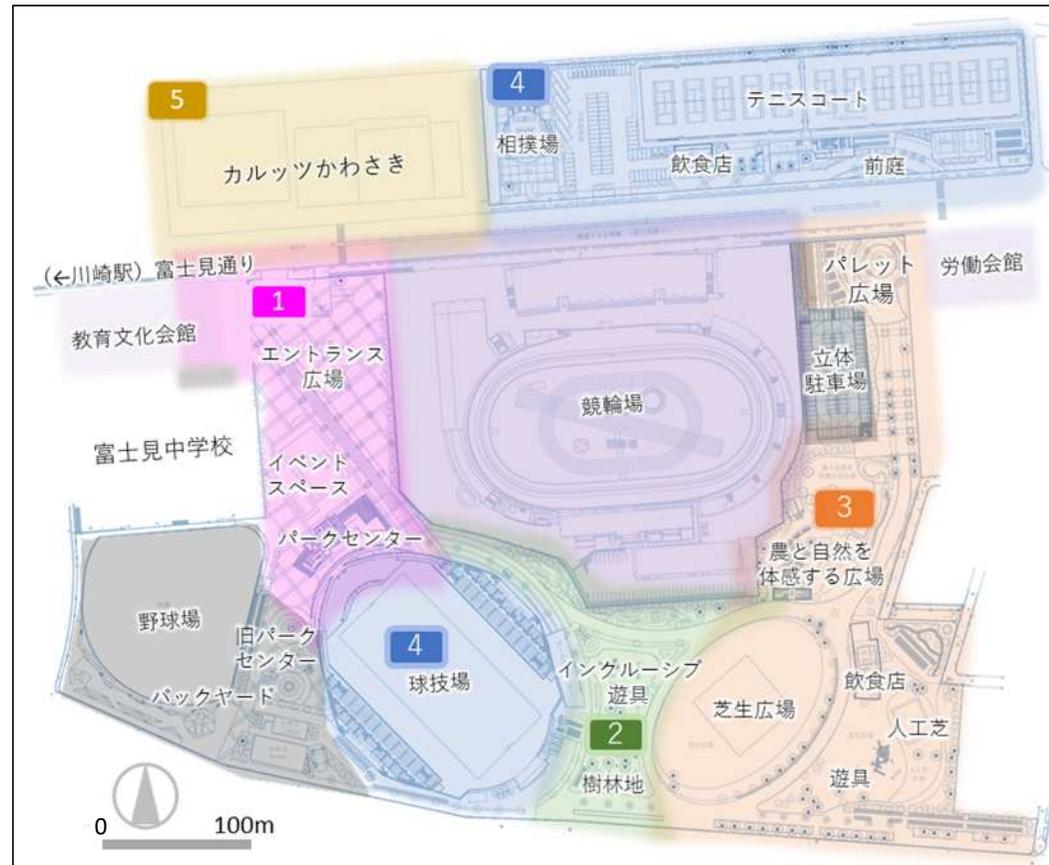
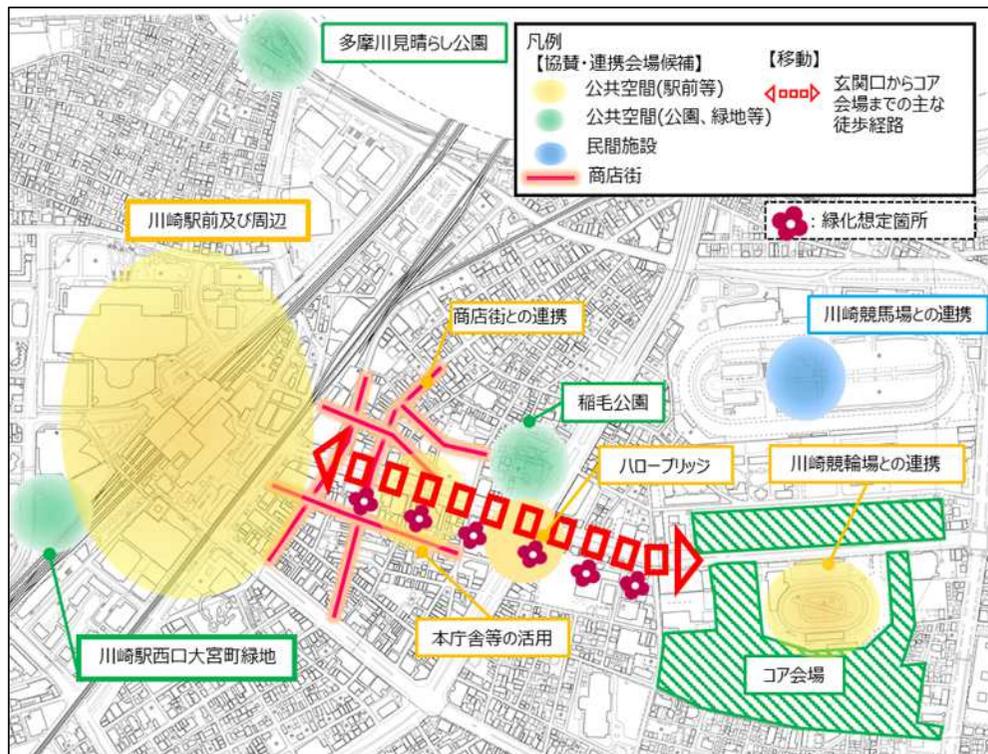
- フェア開催中は、**コア会場及びエリアごとに、主要動線周辺の協賛・連携会場と一体となって、各エリア内の回遊を促す仕掛けを展開**します。
- 各種取組やコンテンツ作成等を通じて、**庁内で把握している各種ボランティア団体等と連携を回り、みどりに関わる人たちのつながりを増や**していきます。
- **多くの人が行き交う主要駅及び周辺の協賛・連携会場**については、**多様な主体と連携し、フェアを通じて取組やその成果を発信**します。

## 4 会場計画：エリアにおける主な取組内容及びコア会場のゾーニング

### (1) 富士見公園

#### コンセプト：「多様性」×みどり

協働・共創による、川崎の多様な魅力・文化・技術を反映した、みどりとオープンスペースの利活用を展開し、あらゆる人々が、みどりの価値に触れ、実感できる空間を創出します。



ゾーニングの考え方	1 エントランスゾーン	かわさきフェアのはじまりにふさわしいおもてなしとコンセプトの発信を展開
	2 グリーンインフラゾーン	川崎を支えてきた産業の歴史と持続可能で豊かな未来をつなげる新たな都会のみどりを発信
	3 ライフスタイルゾーン	都市の生活の中にみどりととりいれた空間活用を発信
	4 みどり豊かなスポーツ・活動ゾーン	様々な世代が楽しめるスポーツやみどりの魅力に触れ、訪れる人々の交流を育む取組を展開
	5 屋内コンテンツゾーン	緑化祭等をはじめとした公式行事やみどりに係る講習会・シンポジウムなど屋内空間を活用した取組を展開

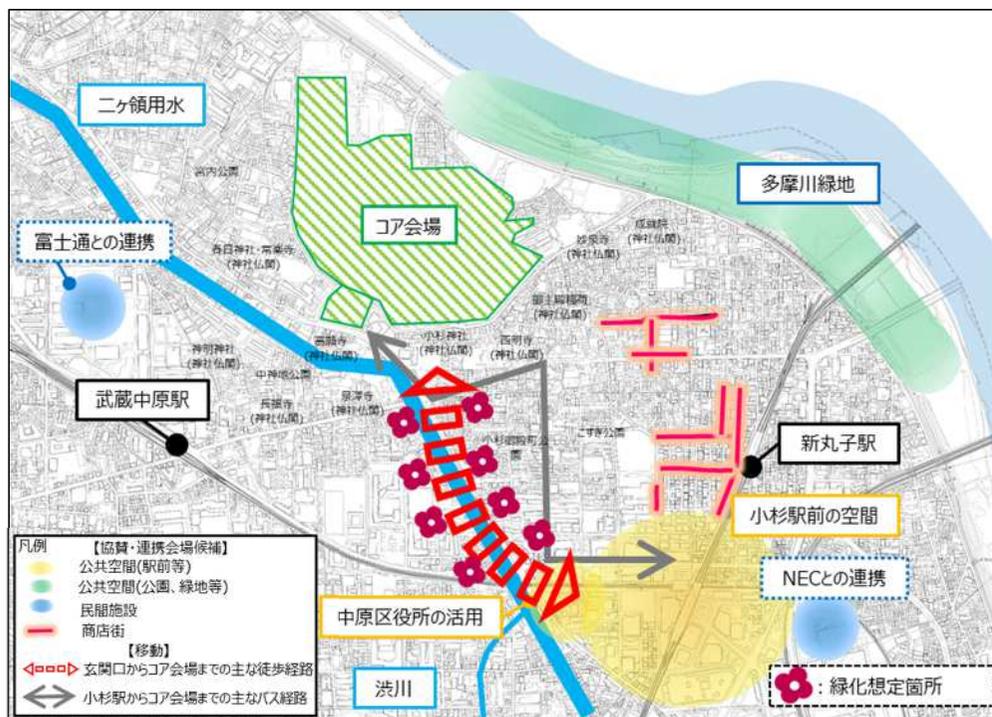
最寄り駅から会場を結ぶ主な取組内容	<p>● 川崎駅前の空間を活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェアを契機として、駅前空間を活用した様々な取組を拡大し、「日常」をさらなる賑わいある空間に創出</li> <li>地域や企業・各局区との取組と連携し、まちを訪れるあらゆる人が、憩い、楽しむことで、街中に人があふれる仕掛けを展開</li> <li>川崎の多様な魅力・文化が、まち全体にあふれ出す仕掛けとして、フェア開催期間中において、まち全体とみどりを掛け合わせ「特別な日」を演出</li> </ul>
	<p>● 駅から会場までのアプローチを活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フェアへの期待感を高める、川崎駅からコア会場までのオープンスペースの活用</li> <li>みどりを感じながら歩いて楽しめる空間の創出</li> </ul> <p>※本取組を契機として、憩いやにぎわいの創出に向けた道路空間活用を推進</p>

## 4 会場計画：エリアにおける主な取組内容及びコア会場のゾーニング

### (2) 等々力緑地

#### コンセプト：「体験・体感」×みどり

地域の様々なみどりや水辺等を活用し、みどりを身近に感じ、リラックスしながら自由な時間が過ごせる空間を創出し、スポーツやアクティビティを中心とした様々な体験・体感の場を創出し、地域のコミュニティの核となる魅力的なみどりとオープンスペースの活用につながる取組を展開



ゾーニングの考え方	1 体験・体感コアゾーン	オープンスペースを活用した、多彩なみどりの体験・体感を集中的に展開
	2 スポーツコラボレーションゾーン	スポーツ団体等との連携により、みどりに囲まれた空間で、スポーツやアクティビティを楽しむコンテンツを展開
	3 ネイチャーコラボレーションゾーン	みどりの活動団体等との連携により、みどりや水辺等の環境を活かした取組を展開

最寄り駅から会場を結ぶ主な取組内容

#### ● 小杉駅前の空間を活用した取組

- 市民、地域団体、企業等と連携し、駅前広場や駅周辺の民間空地、公園緑地、道路空間など、駅周辺の様々な空間において、フェア後の地域のつながりを生み出す魅力的なオープンスペースの活用につながる様々な取組を展開

#### ● 駅から会場までのアプローチ空間を活かした取組

- 二ヶ領用水をはじめ、身近な公園緑地、水辺空間や神社仏閣、商店街等の地域資源とともに、地域の身近なみどりの魅力にふれ、楽しむことで、地域とのつながりを生み出す様々な仕掛けを展開

#### ● 多摩川を活かした取組

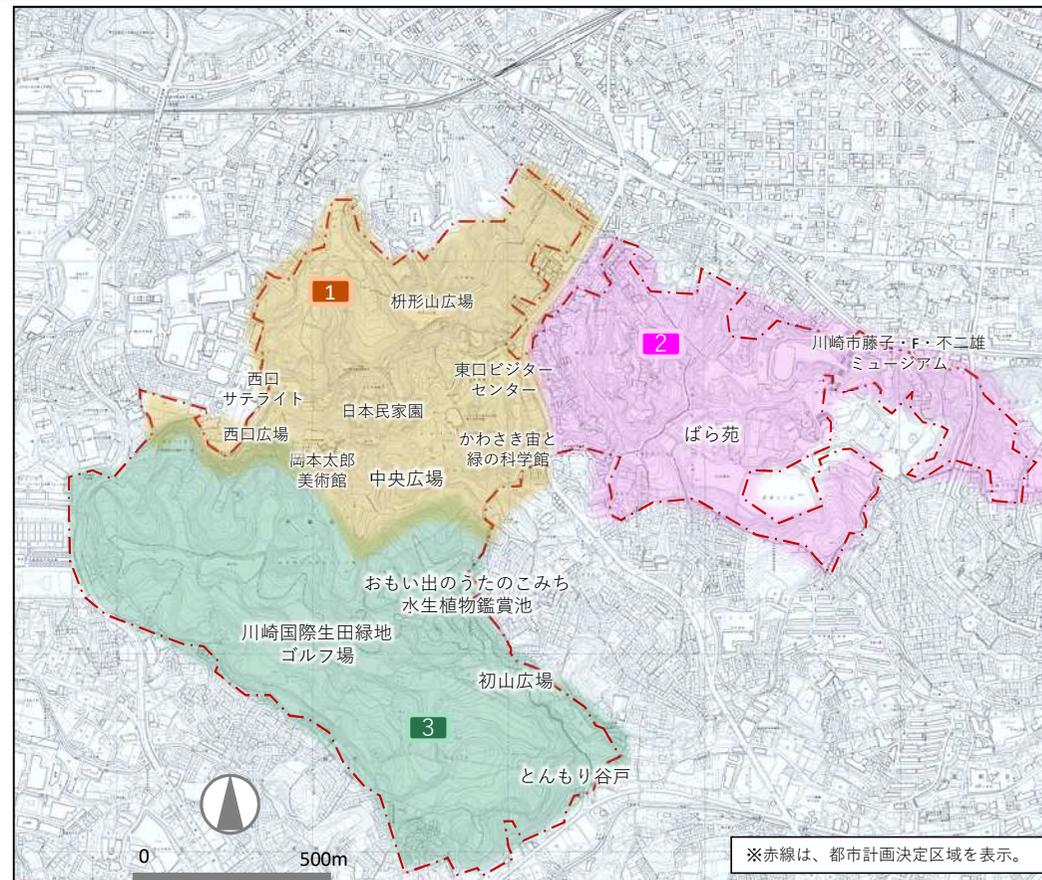
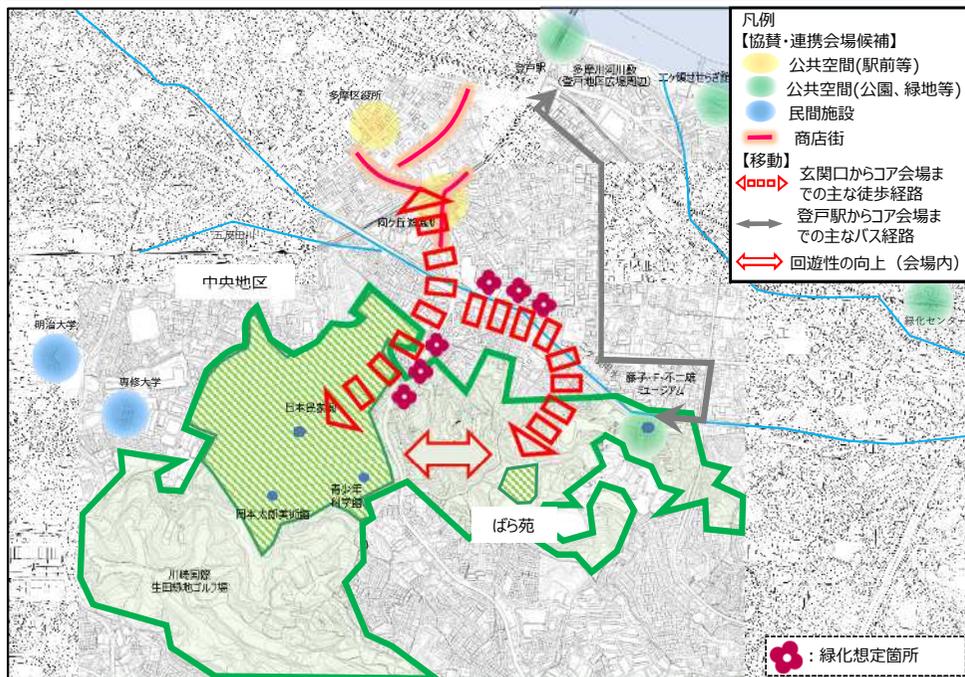
- 多摩川の豊かな水資源や水辺環境を活かした遊び・交流の空間の創出により、様々な体験・体感を通じて水やみどりとふれあい、楽しむ取組を展開

## 4 会場計画 : エリアにおける主な取組内容及びコア会場のゾーニング

### (3) 生田緑地

#### コンセプト : 「歴史・文化」×みどり

協働のプラットフォームである生田緑地マネジメント会議と連携し、これまで培ってきた協働の取組を活かして、歴史・文化を楽しみながら学ぶ様々な取組を展開  
人と自然とのつながりの中で、自然を感じ、楽しむことのできる機会を提供し、新たな協働の担い手の確保や「緑地の存在効用（保全）と利用効用（利用）」の調整により、両者が好循環するしくみにつながる取組を展開



最寄り駅から会場を結ぶ主な取組内容	<p><b>● 駅前及び会場までのアクセス路を楽しむ取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働によるばら苑アクセスロードや道路沿いの花壇などの取組を盛り上げ、歩いて楽しめるまちとみどりの魅力発信にむけて、周辺の地元町会や活動団体、文化施設等と連携し、花壇づくりやレスト空間の創出、回遊を促す取組を展開</li> <li>地域等による道路空間を活用した既存イベントとともに、さらなる賑わいの相乗効果を生み出せるよう、地元商店街等との連携した取組を展開</li> </ul>
	<p><b>● 周辺等と連携した取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然にふれあい、楽しみながら知り、学ぶ場の創出に向けて、川崎国際生田緑地ゴルフ場やコア会場周辺施設等と連携し、体験型プログラムを展開</li> </ul>
	<p><b>● 誰もが楽しめる散策機会の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生田緑地内やエリア全体の地形や距離等による移動の負担を軽減することにより、回遊性向上を図り、誰もが楽しめる仕掛けとして、既存の路線バス等の活用に加え、新たなモビリティを導入</li> </ul>

ゾーニングの考え方	<p><b>1 緑の保全・文化・利用ゾーン</b></p>	多様な主体との協働による生田緑地の自然の保全と利用の取組を発信するとともに、各文化施設と連携したコンテンツを展開
	<p><b>2 花と緑の憩い・賑わい・交流ゾーン</b></p>	ばら苑を中心に、市民のアイデアを取り入れた新たな魅力づくりに向け、憩いや賑わいを創出
	<p><b>3 里山・レジャー体験ゾーン</b></p>	人と自然とのつながりの中で学びや遊び（原体験）、レジャー等のコンテンツを展開

# 4 会場計画

## (4) 協賛・連携会場

### ① 基本的な考え方

- 市内の様々なみどりとオープンスペースを活用し、日常の活動や取組をフェアを通じて発信し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成します。
- 市民一人ひとりが、それぞれの暮らしの中で、みどりと関わりを持ち、みどりに親しみ、その効果を実感できる取組を展開します。

<参考：各区の主な特色など>

区	主な特色	主な協賛・連携会場イメージ
川崎	・富士見公園を拠点としたまちの賑わい創出に寄与するまちづくり ・臨海部の魅力的なロケーションを活用した交流と賑わいの創出	川崎駅周辺、 臨海部（キングスカイフロントなど） 他
幸	・御幸公園における梅香事業の推進による地域の魅力創出 ・夢見ヶ崎公園を活用した賑わいの創出、地域コミュニティ形成	新川崎・鹿島田駅周辺、川崎駅西口、 御幸公園、夢見ヶ崎公園 他
中原	・小杉駅周辺の公共空間を活用した居心地がよく住みやすいまちづくり ・等々力緑地におけるパークマネジメントの推進によるまちの賑わい創出	小杉駅周辺、多摩川緑地、 特色ある商店街（プレーメン通り） 他
高津	・多摩川や二ヶ領用水、橋樹官街遺跡群など、緑、水辺と一体となった魅力的なまちづくり ・地域資源を活用した持続可能な地域社会(エコシティたかつ)の形成	溝の口駅周辺、多摩川緑地、 二ヶ領用水、橋樹官街遺跡群 他
宮前	・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり ・歴史的遺産や農といった地域資源を活用し、緑、水と一体となった魅力的なまちづくり	宮前平・鷲沼駅周辺、菅生緑地、野川・有馬などの植木の里、平瀬川 他
多摩	・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり ・里地里山の保全や豊かな自然資源を活用した交流、賑わいの創出	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺、多摩川緑地、 緑化センター 他
麻生	・保全緑地における保全と利活用による子どもたちがのびのびと自然にふれあい成長できる空間づくり ・農ある風景の保全と農家・市民と連携した地域農業の振興による魅力的なまちづくり	新百合ヶ丘駅周辺、王禅寺ふるさと公園、 王禅寺四ツ田緑地、黒川・早野・岡上などの里地里山・農地 他

[出展：「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子」p.24]

### ② 「市民総参加の実現に向けた考え方」を踏まえた協賛及び連携会場の考え方

- 令和5年度から魅力的なコンテンツ等の周知と広報を一体的に行い、取組を知り、関わるきっかけとなるよう積極的に取組を進めていくため、大きく協賛・連携会場の枠組みを整理します。※分かりやすい名称を引き続き検討します。

	協賛会場	連携会場
定義	○かわさきフェアの開催期間に限らず、フェアの趣旨に賛同して、 <b>盛り上げる取組</b> を実施する場所  [主に <b>市民</b> 向けの取組]	○フェアの開催期間中に、 <b>実行委員会主催又は共催事業</b> として取組を実施する場所 ○会場計画の次のキーワードのうち、いずれか1つの考え方を盛り込んだ会場  ・持続可能 …… 未来につながる取組 ・すべての人 …… 市民総参加型のフェア ・みどりでつなげる…… 人とみどり、人と人とのつながりを感じる ・多彩なみどり …… 街なかの緑地、多摩川、樹林地等を感じる ・多様な効果 …… 様々なみどりの効果を感じる  [ <b>市民及び市外からの来場者</b> 向けの取組]
取組イメージ	○身近な公園や商業施設等を活用した、花やみどりを体験・体感できる取組。 ○道路沿いや公園の花壇等での花植え活動。等	○多様な主体との協働・共創による、エリア全体でフェアを感じられる取組。 ○多くの人が集まる駅や公共空間を活用した、コア会場へとつながる期待感等を醸成する取組。等
みどりのオープンスペース (公園 緑地 河川)	 まちなかの花壇や身近な公園など	 河川敷や道路空間など
駅周辺・商業施設	 駅前  オープンスペースなど	 駅前  オープンスペースなど
民間施設	 企業等によるコミュニティガーデンや事業者緑化など	 商業施設や商店街など

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア 今後のスケジュール

項目	令和4年度		令和5年度				令和6年度		令和7年度	
	9月～12月	1月～3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-9月	10-3月		
総会	9/1 第1回 総会	3/24 第2回 総会		● 総会③		● 総会④	● 総会⑤	● 総会⑥	● 総会⑦	
体制	100周年 幹事会	10/27 第1回 幹事会	1/13 第2回 幹事会	3月上旬 第3回 幹事会	隔月程度開催予定					
	フェア 幹事会	9/30 第1回 幹事会	2/27 第2回 幹事会	年2～3回程度の会議開催の他、適宜、個別ヒアリング等を実施						
取組	市制100 周年記念 事業	● 基本計画策定	● 実施計画策定	● 実施計画改定			● 実施計画改定			
		アイデアの種 募集	① 実行委員会主催事業の企画・検討				市制100周年 記念事業の実施		取組の 継続・発展	
			広報の実施・機運醸成（フェス&カンファレンスの実施等）				① 実行委員会主催事業 ② 市主催事業 ③ 参加団体主催事業 ④ パートナー主催事業			
			PR事業・プレ事業等の実施（①～④事業）				7/1記念式典			
		協賛金計画の検討・実施								
フェア		基本・実施計画策定準備		● 実施計画策定（～R5.8）						
		協働・共創の取組の検討・実施（可能なものから随時、取組に着手）						10月～ 3月～		取組の 継続・発展
		● 10/4～みどりの共創PJ（WS全4回） ● 3/1シンポジウム		市民総参加に向けた取組の推進				フェア開催		
		プレ・準備期間		会場準備・ボランティア募集等				フェア開催		
	全国都市緑化祭（皇室行事）開催準備						緑化祭			